

令和7年度 総合科学部の指導方針等と実績について

1 指導体制

顧問氏名		外部指導員氏名	資格等や経験
主顧問	四関 大輔		
副顧問	保坂 晋之介		
副顧問	井部 未宇		
副顧問	田中 雄祐、松島 毅		

2 年間目標

(1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像	理数分野と親しみ、主体的に研究や企画等の行動をできる生徒を育む。
(2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標	Tokyo サイエンスフェアへの参加 文化祭の実験教室の企画・運営 学会への発表、実験動画の作成、ゲームの作成・公開
(3) 地域貢献等の特色ある目標	サイエンスカフェの企画・運営、

3 指導方針

(1) 技術や技能, 体力の向上	3Dプリンタの使用、プログラミングによるゲーム制作 3Dモデリングの作成
(2) 公式戦や発表会への積極的な参加	Tokyo サイエンスフェアへの出場 電気通信大学高大連携基礎プログラミングへの参加
(3) 他校との合同練習、練習試合、校外活動の設定	筑波サイエンスツアー
(4) 部加入率の維持、増加	2年生10名、1年生3名

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導	週一回のミーティング
(2) 生徒間の暴力禁止	週一回のミーティング
(3) 外部指導員の活用	今後、検討中
(4) 事故防止・安全配慮	実験時のゴーグルの使用、教員の帯同

5 主な年間計画

	月	内 容
1 学 期	4	研究テーマの決定
	5	先行文献の調査
	6	リサーチクエスションの決定
	7	検証方法の決定
	8	検証の実施、文化祭企画の準備
2 学 期	9	データの分析、文化祭企画
	10	追加・実験 レポートの作成
	11	Tokyo サイエンスフェアへの参加
	12	サイエンスカフェの企画
3 学 期	1	サイエンスカフェの準備
	2	サイエンスカフェの準備
	3	サイエンスカフェの運営

6 活動日・活動場所

曜日	月	火	水	木	金	土	日
活動 場所		○		○	○		

7 公式戦・大会等の実績

Tokyo サイエンスフェアへの出場 電気通信大学高大連携基礎プログラミングへの参加 筑波サイエンスツアー
